

荒川 雅行 教授 略歴

学歴

- 1979年 3月 関西学院大学法学部法律学科卒業（法学士）
- 1979年 4月 関西学院大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程前期入学
- 1981年 3月 関西学院大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程前期修了（法学修士）
- 1981年 4月 関西学院大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程後期入学
- 1985年 3月 関西学院大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程後期課程退学

<在外研究>

- 1994年 4月 ドイツ・マックスプランク国際刑法研究所客員研究員（同年9月まで）
- 2002年 7月 同上（同年9月まで）

職歴

- 1985年 4月 関西学院大学法学部助手（1987年3月まで）
- 1987年 4月 関西学院大学法学部専任講師（1989年3月まで）
- 1989年 4月 関西学院大学法学部助教授（1995年3月まで）
- 1995年 4月 関西学院大学法学部教授（2004年3月まで）
- 1997年 4月 関西学院大学大学院博士課程前期課程指導教授
- 1999年 4月 関西学院大学大学院博士課程後期課程指導教授
- 2004年 4月 関西学院大学大学院司法研究科教授（2023年3月まで）

その他、主な非常勤講師先（順不同）

園田学園女子大学，同短期大学部，関西大学（工学部，総合情報学部），
甲南大学（法学部），近畿大学（法学部），大阪市立大学（法学部），
神戸学院大学（法科大学院，大学院法学研究科，法学部），大阪教育大学，
薫英女子短期大学

学会及び社会における活動等

<所属学会>

1981年10月 日本刑法学会会員（現在に至る）

<社会における活動>

2002年12月 宝塚市個人情報保護・情報公開審査会審査員（2013年12月まで）

2002年11月 大阪第一検察審査会審査員（2003年4月まで）

2004年1月 神戸市個人情報保護審議会審査委員（副会長）（2022年12月まで）

2006年4月 神戸市公正職務検討委員会委員（2006年6月まで）

2007年1月 神戸市公正職務審査会審査委員（2022年3月まで）

2007年4月 姫路市市長等政治倫理審査会，同職員倫理審査会委員（会長）（現在に至る）

2014年7月 加古川市市長等倫理審査会委員・同職員倫理審査会委員（委員長）（2022年9月まで）

2014年1月 兵庫医科大学倫理審査会委員（現在に至る）

2012年1月 兵庫医科大学ヒトゲノム遺伝子解析研究倫理審査会委員（なお，同審査会は現在上記倫理審査会に統合されている）

2020年4月 兵庫医科大学臨床研究審査委員会委員（2024年1月まで）

2006年9月 日弁連法務研究財団：法科大学院認証評価委員会委員，自
4(4) 法と政治 75巻1号（2024年5月）

己点検・評価委員会委員（2021年11月より副委員長）（現在に至る）

主要研究業績

著書

- | | | | |
|---------------------|----------|---------------|-----------|
| 刑事政策 共著 | 1993年 | | 青林書院 |
| 刑法総論 共著 | 1993年 | | 八千代出版 |
| 情報化時代の教育・研究術 単著 | 1994年3月 | | |
| | | 関西学院大学総合教育研究室 | |
| 刑事政策 共著 | 1998/4/1 | 編者：加藤久雄，瀬川晃 | 青林書院 |
| 新判例マニュアル刑法Ⅱ [各論] 共著 | 1998年 | | 三省堂 |
| 経済刑法入門 第3版 共著 | 1999年3月 | | 成文堂 |
| 現代刑事政策 共著 | 2000年1月 | | 青林書院 |
| 判例経済刑法大系 第3巻刑法 共著 | 2000年9月 | | 日本評論社 |
| 環境刑法概説 共著 | 2003年7月 | | 成文堂 |
| 刑法講義ノートⅠ（総論） | 2004年4月 | | |
| 同改訂版 | 2005年4月 | | |
| 同新版 | 2006年4月 | 単著 | 関西学院大学出版会 |
| 同新版改訂版 | 2007年4月 | | |
| | 2008年4月 | | |
| 刑法講義ノートⅡ（各論） | 2006年10月 | | |
| 同（新版） | 2007年10月 | | |
| | 2008年10月 | 単著 | 関西学院大学出版会 |
| | 2009年10月 | | |
| | 2010年9月 | | |
| 新刑法講義ノートⅡ（各論）初版 | 2017年12月 | 単著 | |
| | | | 関西学院大学出版会 |

新刑法講義ノートⅠ（総論）初版 単著 2018年1月

関西学院大学出版会

講義テキスト 刑法総論 単著 2023年4月 関西学院大学教材制作室

論文

過失犯における被害者の同意に関する一考察—生命・身体犯を中心として— 単著 1982年10月 法と政治33巻2号 (pp. 313-357)

情報と財産犯 単著 1983年10月 刑法基本講座第5巻『財産犯論』所収
(阿部純二, 板倉宏他編, 法学書院) (pp. 37-52)

過失による正当防衛・過剰防衛に関する一考察 単著 1984年9月
法と政治35巻2号 (pp. 73-118)

騒擾罪に関する一考察—新宿騒擾事件最高裁決定を契機として—
単著 1986年3月 法と政治37巻1号 (pp. 89-106)

刑事過失犯論の現代的課題(1)—その違法阻却論を中心として—
単著 1986年9月 法と政治37巻3号 (pp. 1-11)

刑事過失犯論の現代的課題(2)—その違法阻却論を中心として—
単著 1987年3月 法と政治38巻1号 (pp. 1-21)

デイヴァージョンと刑法に関する一考察—警察における微罪処分を中心として—
単著 1987年9月 法と政治38巻3号 (pp. 421-466)

企業秘密保護とコンピュータ犯罪 単著 1987年7月
犯罪と刑罰3号 (pp. 59-71)

軽微な財産事犯の処理—警察における微罪処分を中心として—
単著 1987年12月 刑法雑誌28巻2号 (pp. 191-215)

コンピュータ犯罪と企業秘密保護—西ドイツ不正競争防止法17条を中心として—
単著 1988年12月 法と政治39巻4号 (pp. 237-261)

知的財産権の刑法的保護—半導体保護法の刑罰を中心として—

6(6) 法と政治 75巻1号 (2024年5月)

- 単著 1989年12月 法と政治40巻4号 (pp. 271-288)
政治腐敗と刑事規制—政治改革関連立法における刑事規制を中心として
- 単著 1995年6月 法と政治46巻2号 (pp. 1-22)
情報刑法の現代的課題—いわゆる電子マネーを中心として
- 単著 1997年2月 『中山研一先生古希祝賀論文集』所収
(第2巻, 成文堂) (pp. 151-162)
- ネットワーク犯罪と刑事立法 単著 1999年4月
刑法雑誌38巻3号 (pp. 156-161)
- ネットワーク社会の倫理とルール 単著 2000年5月
大学時報2000年5月号 (pp. 82-85)
- ハイテク犯罪の現状と課題 単著 2000年10月
刑政111巻10号 (pp. 42-49)
- 電子計算機使用詐欺 単著 刑法の争点 [第3版] (pp. 156-161) 2000
年11月
- コンピュータ犯罪の新しい動き—コンピュータ犯罪からハイテク犯罪へ
単著 2001年6月 法学教室249号 (pp. 37-41)
- 独占禁止法と経済刑法 単著 2001年10月
現代刑事法3巻10号 (pp. 18-24)
- 政治腐敗と刑事規制—いわゆる「口利き」規制をめぐる
単著 2007年4月 法と政治58巻1号 (pp. 25-53)
- 警察の立件裁量の問題性—微罪処分を中心として 単著 2007年9月
『社会の中の刑事司法と犯罪者』菊田幸一 [ほか] 編,
日本評論社 (pp. 203-210)
- サイバー犯罪の動向と課題 単著 2008年4月
前野育三先生古希祝賀論文集『刑事政策学の体系』(法律文化社) 所収
(pp. 461-474)
- 法と政治 75巻1号 (2024年5月) 7(7)

消費者保護と刑事規制—改正特定商取引法上の罰則を中心として

単著 2017年 8月 法と政治68巻 2号 (pp. 25-48)

臨床研究法におけるインフォームド・コンセント—刑法学の立場から

単著 2022年 2月 法と政治72巻 4号 (pp. 1-22)

暗号資産と刑事規制—その予備的考察 単著 2022年 5月

法と政治73巻 1号 (pp. 17-58)

判例研究

少年保護事件における二つの最高裁決定 ①みどりちゃん事件 (最高裁昭

和58年 9月 5日決定) ②流山中央高校放火未遂事件 (最高裁昭和58年

10月26日決定) 単著 1984年 8月 関西非行問題研究 9号

未決拘禁者の「閲読の自由」に関する最高裁 大法廷判決 (最高裁昭和58

年 6月22日大法廷判決) 単著 1985年 4月 甲南法学24巻 3 = 4号

結果防止行為の真摯性 (大阪高裁昭和44年10月17日判決)

単著 1991年 4月 刑法判例百選 I 総論 [第 3 版]

窃盗か占有離脱物横領か (最高裁昭和32年11月 8日判決)

単著 1992年 4月 刑法判例百選 II 各論 [第 3 版]

窃盗未遂の主張が排斥され、同既遂罪の成立が認められた事例 (①東京高

裁平成 4年10月28日判決, ②東京高裁平成 5年 2月25日判決)

単著 1994年 6月 平成 5年度重要判例解説

結果防止行為の真摯性 (大阪高裁昭和44年10月17日判決)

単著 1997年 4月 刑法判例百選 I 総論 [第 4 版]

窃盗か占有離脱物横領か (最高裁昭和32年11月 8日判決)

単著 1997年 5月 刑法判例百選 II 各論 [第 4 版]

危険の引受けと過失犯の成否—ダートトライアル同乗者死亡事件 (千葉地

裁平成 7年12月13日判決) 単著 1997年 6月

8(8) 法と政治 75巻 1号 (2024年 5月)

平成8年度重要判例解説

共同正犯と幫助犯（1）（最高裁昭和23年3月16日判決）

単著 2003年4月 刑法判例百選Ⅰ総論 [第5版]

コンピュータ詐欺（1）（東京高裁平成5年6月29日判決）

単著 2003年4月 刑法判例百選Ⅱ各論 [第5版]

共犯と錯誤（2）（最高裁昭和54年4月13日判決）

単著 2008年2月 刑法判例百選Ⅰ総論 [第6版]

クレジットカードの不正使用（最高裁平成16年2月9日判決）

単著 2008年3月 刑法判例百選Ⅱ各論 [第6版]

共犯と錯誤（1）（最高裁昭和25年7月11日判決）

単著 2014年8月 刑法判例百選Ⅰ総論 [第7版]

販売の目的の意義（最高裁平成18年5月16日決定）

単著 2014年8月 刑法判例百選Ⅱ各論 [第7版]

共犯と錯誤（1）（最高裁昭和25年7月11日判決）

単著 2020年11月 刑法判例百選Ⅰ総論 [第8版]

外国文献・判例紹介・資料

西ドイツ「新刑法雑誌」の紹介（3） H-D・シュヴィント「社会治療

施設の将来について」 単著 1982年9月 警察研究53巻9号

受刑者の休暇と執行庁の裁量—BGH. v.22, 12, 1981. NJW. 1982, 1057=

NStZ. 1982, 173〈外国刑事判例研究〉 単著 1983年2月

関西大学大学院法学ジャーナル35号

イレーネ・H・ネーゲル & ジョン・L・ハーガン「連邦裁判所におけるホ
ワイト・カラー犯罪の量刑：不均衡の社会学・法学的調査」〈会社犯罪

および組織体犯罪に関する諸論文の紹介3〉 単著 1983年9月

警察研究54巻9号

- 西ドイツ「新刑法雑誌」の紹介(17)〈最近の外国刑法事情17〉 ギュンター・カイザー「少年刑法の非犯罪化の可能性および実務におけるその活用」 単著 1983年12月 警察研究54巻12号
- 最近の外国刑法事情27／西ドイツ「新刑法雑誌」の紹介26 ハイイツ・ミュラー＝ディーツ「刑法63条による精神病院収容の法的諸問題(1)」 共著 1984年10月 警察研究55巻10号
- 西ドイツ「新刑法雑誌」の紹介27 ハイイツ・ミュラー＝ディーツ「刑法62条による精神病院収容の法的諸問題(2)」 単著 1984年11月 警察研究55巻11号
- ディーター・デーリング「被害者が自己危殆化におもむいた場合の行為者の過失責任」(紹介) 単著 1984年11月 法と政治35巻3号
- 最近の外国刑法事情40／アメリカ合衆国の死刑制度に関する文献の紹介2 D・C・バルドゥス, C・ブラスキー, G・ウッドワース「死刑判決の比較検討——ジョージア州の経験科学的研究」 単著 1985年11月 警察研究56巻11号
- ウルリッヒ・クルーク記念論文集の紹介(5) ハンス＝ハインリッヒ・イエシエック「現代刑事政策をてがかりにしたフランツ・フォン・リストにおける自由刑の意義」 単著 1986年 龍谷法学18巻4号
- 西ドイツのコンピュータ犯罪に関する文献の紹介2 E.-J. ランベ「いわゆるコンピュータ犯罪の刑法上の処理について」 単著 1987年9月 警察研究58巻7号
- 西ドイツのコンピューター犯罪に関する文献の紹介4 マンフレット・メーレンシュラーガー「新たなコンピューター刑法(1)」 単著 1987年9月 警察研究58巻9号
- 最近の外国刑法事情62／西ドイツのコンピュータ犯罪に関する文献の紹介5 マンフレット・メーレンシュラーガー「新たなコンピューター刑法10(10) 法と政治 75巻1号 (2024年5月)

- (2) 単著 1987年11月 警察研究58巻11号
西ドイツのコンピュータ犯罪に関する文献の紹介7・完 レンクナー,
ヴィンケルバウアー「コンピュータ犯罪——第2次経済犯罪対策法の可
能性とその限界」 単著 1988年1月 警察研究59巻1号
最近の外国刑法事情84 B・ホーガン「不作為と義務の神話」
単著 1989年9月 警察研究60巻9号
アメリカ合衆国のコンピュータ犯罪規定(上) 共著(大山弘, 加藤敏幸,
新保佳宏と共著) 1990年 法と政治41巻1号
アメリカ合衆国のコンピュータ犯罪規定(下・完) 共著(大山弘, 加藤
敏幸, 新保佳宏と共著) 1991年3月 法と政治42巻1号
イギリス・コンピュータ犯罪立法の新動向 ~Law Commission Report
No. 186(1989)の紹介 共著(大山弘, 佐藤雅美と共著) 1991年2月
福島大学行政社会学会 行政社会論集3巻3号
最近の外国刑法事情110/アメリカのホワイトカラー犯罪1 キャスリ
ン・A・スマート「反トラスト犯罪」単著 1992年3月
警察研究63巻3号
P・J・P・タック「ヨーロッパ人権条約5条からみたオランダにおける警
察の逮捕・勾留」 共著(田中康代と共著) 1995年
法と政治46巻3号

教育実践報告

- 全国法科大学院めぐり：刑事法教育の特色(8) 関西学院大学大学院司
法研究科 単著 2005年 現代刑事法6巻12号98頁
関西学院大学司法研究科におけるFD活動の取り組み 単著 2012年3月
関西学院大学高等教育研究2号(pp.93-101)
インターネットが犯罪を容易にする：自己努力と国際協調で対策を
法と政治 75巻1号(2024年5月) 11(11)

単著 2002年 8月 関西学院大学スカイセミナー：Sky Seminar

その他

鐘の鳴る丘有明高原寮見学記 単著 1982年 9月 関西非行問題研究 7号

電子図書館と電腦作法 単著 時計台 No. 54 (p. 7)

作業賞与金, 再犯率 単著 1997年 7月

法学セミナー427号 (特集 数字に強くなる (刑事制度篇))

インターネットが犯罪を容易にする：自己努力と国際協調で対策を

単著 2002年 8月 関西学院大学スカイセミナー：Sky Seminar

ウイルス作成罪 (KEY WORD) 単著 2011年11月号 法学教室374号

刑法学案内 単著 司法研究科 資料室だより20号 2023年 3月

講演

行政対象暴力の変容と課題—不当要求行為を中心として— 2018年 7月

(於) 姫路市役所

地方公務員をめぐるコンプライアンス条例の動向と課題 2022年11月

(於) 姫路市役所